

## 令和5年 病害虫防除指導情報 第1号

作物名：りんご  
病害虫名：腐らん病

枝腐らの発生が前年に引き続き多く見られています。  
園地をよく見回り、早期発見に努め、見つけ次第切り取ってください。  
胴腐らは再発病斑も含め、泥巻きなどの処置をしてください。

### 1 発生状況

- (1) 病害虫防除所が4月中旬に実施した巡回調査によると、県内47園地中30園地で枝腐らが認められ、前年と同様に平年よりやや多くなっている。



図1 枝腐らん

### 2 防除対策

- (1) 枝腐らは、見つけ次第切り取り適切に処分する。また、胴腐らの発病が著しい樹は伐採するなど、伝染源の除去に努める。
- (2) 胴腐らは、再発病斑を含め見つけ次第、次のいずれかの処置を行う。
- ア トップジンMオイルペースト、フランカットスプレー又はバッチレートを使う場合は、図2のとおり適切な方法で処置を行う。なお、トップジンMオイルペーストは耐性菌を生じやすいので、本剤による治療後に再発した場合は直ちにフランカットスプレー又はバッチレートによる方法、あるいは泥巻き法で治療する。
- イ 泥巻きを行う場合は、水を加えて団子状にこねた泥を病斑部より5～6cm広く、3～5cmの厚さで貼り付ける。その上をビニール又はポリエチレンフィルムなどで被覆し、内部の泥の乾燥を防ぐようにして約1年間放置する。泥巻きを行う場合、病斑部を軽く削り取ってから行うと一層効果的である。

#### 【泥巻き部の管理について】

被覆内部で泥の付いていない部分の皮層部が腐敗することを防止するため、①ときどき腐敗の有無を点検するとともに、②被覆部に結束する場合は、内部が過湿にならないように弱めに行うこと、③泥を貼り付けた反対側の被覆部に小穴をあけて、水滴が溜まったり過湿にならないようにすること（特に水平に近い枝の場合は大切である）及び④被覆部を必要以上に広くしないこと。

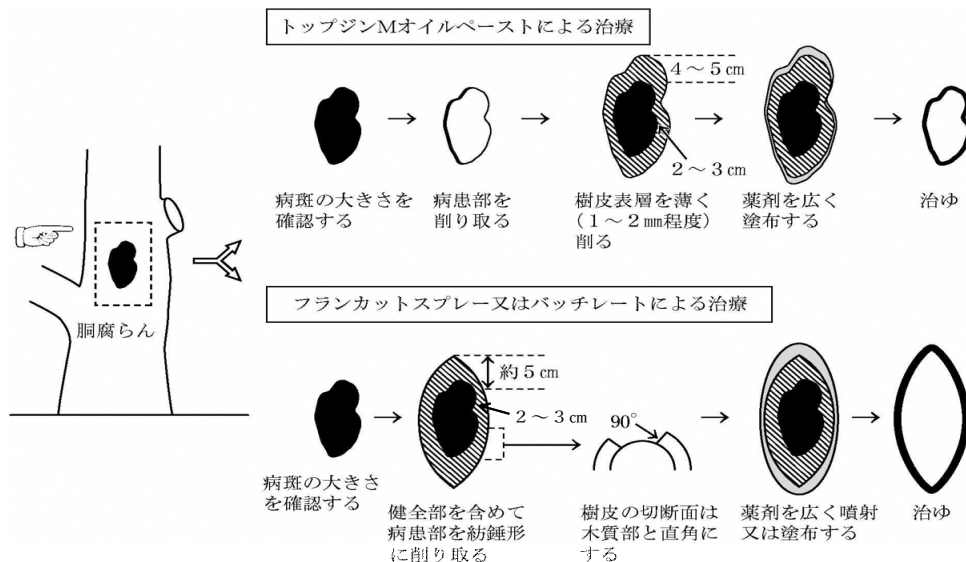


図2 削り取り法による胴腐らん治療の作業手順

- (3) 発生が多いところでは、「6月中旬」の基準薬剤の中から摘果後の果柄感染防止効果の高いラビライト水和剤500倍を選択する。
- (4) 粗皮感染による胴腐らんの発生が多い園地では、「7月半ば」又は「7月末」のいずれかの時期にトップジンM水和剤1,500倍又はベンレート水和剤3,000倍も使用する。

殺菌剤の作用機構分類

農薬名	有効成分	FRACコード	系統名
トップジンMオイルペースト	チオファネートメチル	1	MBC剤
フランカッツスプレー	ポリオキシンド亜鉛塩	19	抗生物質
バッチレート	有機銅	M01	有機銅剤
ラビライト水和剤	チオファネートメチル	1	MBC剤
	マンネブ	M03	ジチオカーバメート
トップジンM水和剤	チオファネートメチル	1	MBC剤
ベンレート水和剤	ベノミル	1	MBC剤

FRAC農業用殺菌剤作用機構分類の最新版は農薬工業会ホームページ (<https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>) を参照。

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

農林水産省「農薬情報」 [https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)  
 農林水産省「農薬登録情報提供システム」 <https://pesticide.maff.go.jp/>

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6  
 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900  
 担当：主幹 藤川弘幸